

# ファミリー・サポート・センター

ファミリーサポートセンターとは？  
子育てを手伝ってほしい人（利用会員）とお手伝いしたい人（サポート会員）が育児の相互援助活動を行う組織のことです。

あなたも会員になりませんか？  
多くの方が会員登録、利用しています。

サポート会員 32人  
利用会員 47人  
利用実績 47件（8月末現在）

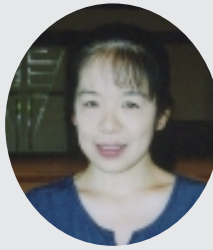
\*会員登録を希望する人は児童課まで

児童課 内線 309



## サポート会員からひとこと

私の場合、月に2～3件のサポート依頼があります。みなさんがファミリーサポートを利用するのは、学校の行事などで一時的に下のお子さんの面倒をみるのができなくなった場合や、親が病院へ行くときにお子さんを連れて行きたくない場合など、理由はさまざまです。



長谷部晶子さん  
(田島町)

自分が幼いころは、隣の人に子どもを預けたりして、地域ぐるみで子育てをすることが当たり前でした。しかし、最近はそのような地域の輪が希薄になったことや、働く女性が多くなり、ニーズが多様化していることから、ファミリーサポートのような制度が必要になってきたのだと思います。

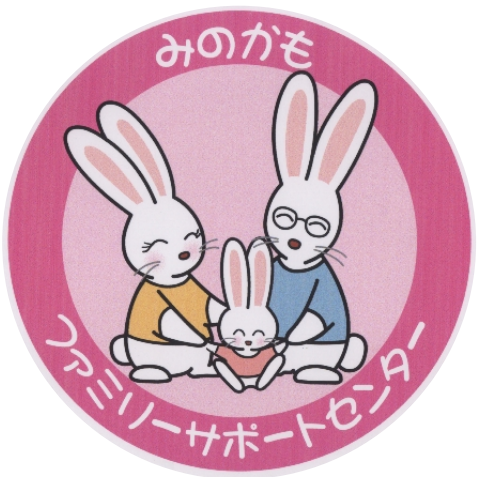
## 利用会員からひとこと

7月から働くようになったこともあり、ファミリーサポートの制度をよく利用させていただいています。子どもはなるべく実家に預けることにしていますが、それでも子どもの面倒が見られないときがあるため、そのような場合に利用しています。



森 真智子さん  
(中富町)

働く女性にとって、この制度は心強く大変助かっています。また、ファミリーサポートは料金制ということもあり、必要なときに遠慮なくお願いできるのがいいですね。サポーターさんも親切に対応していただいているので、安心して子どもを預けることができます。これからも必要に応じてこの制度を利用し、仕事と子育てを両立していこうと思います。



## 私がデザインしました！

4月から開設されたみのかもファミリーサポートセンターのキャラクター（ウサギの親子）は、森山町の長島里佳さんがデザインしました。絵を描くことが大好きな里佳さんは、地域で仲良く暮らしている家族をイメージして描いたそうです。



長島里佳さん  
(森山町)

幸せそうなウサギの姿がファミリーサポートセンターのイメージにぴったりですね。

# Future

21世紀のまちづくり

広聴

## 市長と21世紀を語ろう

「第24回「子どもと市長・教育委員と語る会」」

学校週5日制について  
市長 休日が増えることになりませんが、みなさんはどう思い、何をしたいですか。

学校週5日制がスタートすれば、友だちとたくさん遊べるし、家族の団らんの時間がたっぷり取れます。また、クラブ活動にも土・日曜日の時間が有効に使えると思います。

学校で仲間のことをよく理解し、コミュニケーションを深めていく時間がなくなっていくことになり、僕は寂しさを感じます。そこで、給食の代わりに弁当持参の日をつくってみてはどうでしょうか。学級や学年の枠を越えた給食の時間を過ごすことで、今まで以上に広い仲間関係をつくっていきけるのではないかと思います。

せっかく休みができるので、町を美しくする活動、清掃ボランティアなど（を）をしたい。

美濃加茂市の町を探検したい。山之上のナシ、日本ライン下り、三和のホタルなどの場所に行ったことがないので行ってみたい。そのために、あい愛バスを増便してほしい。

図書館やプールなどの施設に行つて楽しみたい。しかし、自分の家から遠く、あい愛バス



を利用することになるので、もっとバスを増便してほしい。

人と人とのふれあいを大切にしていきたい。特に家族とのふれあいを大切にしたい。

土・日曜はジュニアテニスに参加しています。そのようなサークルが増えれば、他の小学生との交流ができ、休日が有効に使えると思う。

親や大人の考えで子どもを縛らないでほしい。「自分がこの休みに十分満足できたか」と自分に投げかけ、自分が責任を持って活動できるように取り組んでいきたい。

趣味を生かして作品作りに取り組んだり、スポーツ少年団に入ったり、家で責任を持って手伝いをしたり、ボランティア活動ができればいいと思います。そのためにも、いろいろな学校の子どもたちが集まって楽しみながら作品を作ったり、スポーツのできる施設をつくってほしい。

市長 すべて、学校の名前を付けないとクラブ活動ができないというのはなく、これからは、小学校単位、中学校単位ではない地域でのクラブ活動があってもいいと思う。将来的には、学校を越えた活動ができるように考えていかなければいけないでしょう。

## 広聴 市長と21世紀を語ろう

「市長が教育評議員と語る会」

とき 10月23日(火)

総合政策課 内線 241